

環境報告書 2025

ENVIRONMENTAL
REPORT 2025



ミスミグループ
株式会社 駿河生産プラットフォーム

INDEX

ごあいさつ	01
事業内容	02
環境方針	03
環境マネジメント	04~05
FY24-FY26グローバル環境目標	06
FY24グローバル環境目標と実績	07
FY24グローバル環境目標達成拠点	08
事業活動に伴う環境負荷実績・施策	09~16
環境活動への取り組み	17
会社概要	18

社会の持続的発展を実現するために、地球温暖化対策・生物の多様性保全をはじめとする重要な環境課題解決に向け、人類が叡智を集め真剣に取り組まなければならない時代です。

日本政府は2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言。更に2021年4月米国主催の気候サミットにおいて、日本の2030年度の温室効果ガス削減目標を「2013年度比46%削減、さらに50%の高みを目指し挑戦を続ける」という野心的な中間目標が掲げられ、政府主導による脱炭素化の動きが加速しています。

駿河生産プラットフォームにおきましても、「テクノロジーとエコロジーの共存」をスローガンに環境負荷の少ない商品開発及び生産活動を推進しております。

グローバルでの生産・供給体制を牽引する重要な拠点として、国内外の全拠点を牽引すべく、本社から海外拠点へ環境技術を積極的に展開するとともに、ミスミグループ全体での環境マネジメントシステム（EMS）の高度化を推進し、グループ全体のリスク管理及び法令順守に取り組んで参りました。確実短納期・安定供給を実現しつつ、省エネ・省資源にも貢献しています。

今後も、グローバルにもものづくりを行っている企業としての社会的責務を自覚し、持続可能な社会の実現に向け積極的に貢献して参ります。

今後とも当社の事業につきまして、ステークホルダー皆様からなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 遠矢 工

事業内容



あらゆる工場において、その構築の成否が競争力に直結するFA(ファクトリー・オートメーション)。自動化部品製造では、そうした生産ラインを支える様々な部品を開発、製造しています。主要製品は、例えば半導体ウェハの移送工程や産業ロボットの可動部などで使われる、いわゆる機構系の部品。なかでも、リニアガイドやリニアブッシュといった直動システムに関わるものについては、非常に高い技術を誇っています。



プレス製造では、プレス機による金属塑性加工に使用される金型関連部品の開発、製造を行っています。パンチ&ダイ、ガイド、スプリングなど、多種多様な製品を扱っており、なかでも実際に金属の成型を行う部分であるパンチ&ダイ(標準品)では、国内トップクラスのシェアを確保しています。プレス金型関連製品の製造は、駿河精機設立の2年後、1966年から手掛けている主要事業であり、コアコンピタンスである“精密加工技術”を培ってきた当社の土台。現在は切削、研削、研磨といった加工技術に加え、製品開発、設計、品質管理など、すべての事業プロセスに磨きをかけ、決して他社が真似できないトータルな技術力の獲得に努めています。



お客様は、3DのCAD設計データをmeivyのウェブサイトアップロードするだけで、即座に見積もり・発注が出来ます。お客様は、部品発注のための図面作成や、発注の手間が大幅に削減され、お客様の時間を創出します。その革新的な生産プロセスは、自動化・無人化により、最短即日出荷が可能です。meivyデジタルマニュファクチャリングシステムの開発・展開・生産を行うのが、駿河生産プラットフォームです。



OST(Optical & Scientific Technology)製造事業は、駿河生産プラットフォームが20年以上にわたり培ってきた精密加工技術を基盤に、成長産業である携帯端末、医療機器、通信機器、映像機器市場に向け、競争力の高い製品を供給し続けています。特に、製品や部品の加工作業の際の位置調節に不可欠な「位置決めステージ」では国内トップクラスのシェアを誇り、欧米、アジアを中心に成長を続けています。公的研究機関や大手電子機器メーカーなどの研究開発市場向け高精度部品から、生産市場向け精密位置決めユニットや、光学技術を駆使した計測・検査装置など、製品のシステム化によるソリューションビジネスまでグローバルに展開しています。

環境方針

当社は、グローバルカンパニーとして社会的責務を強く認識し、環境関連の法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

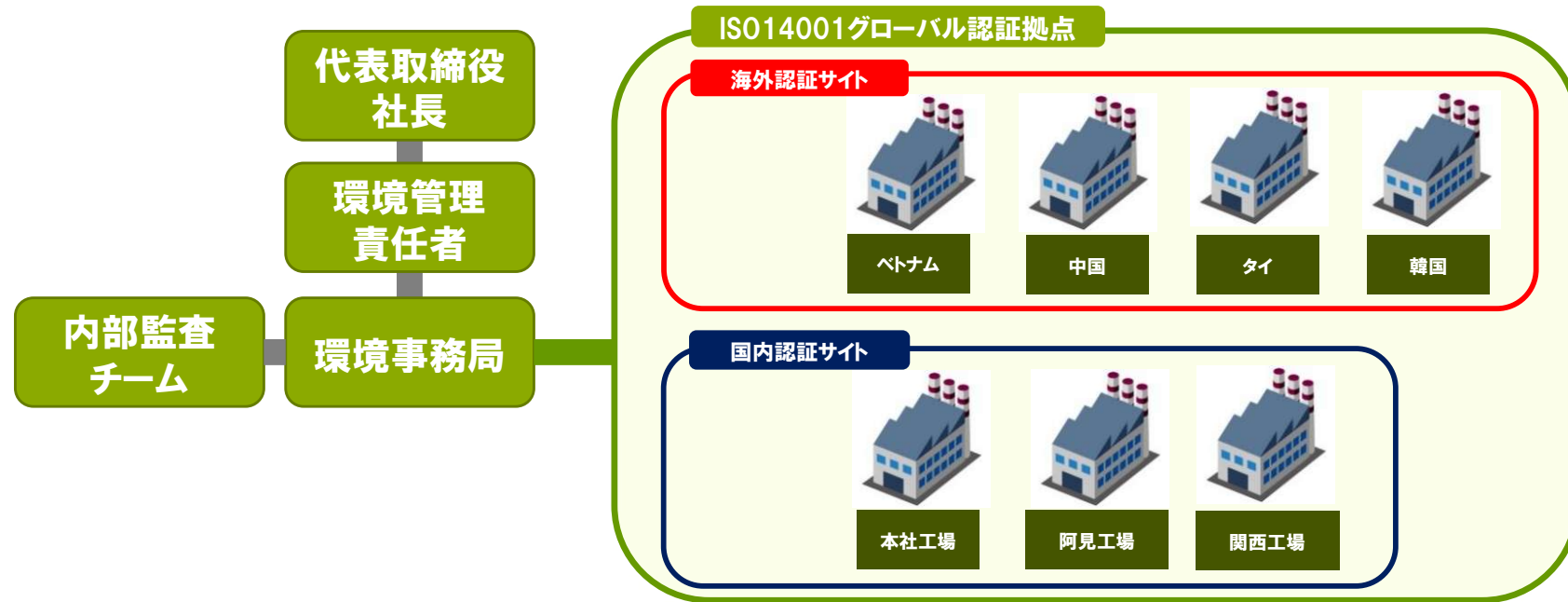
「テクノロジーとエコロジーの共存」をスローガンに掲げ、脱炭素活動への取り組みを推進し、持続可能な社会実現に向けた社会貢献を果たします。

環境行動方針

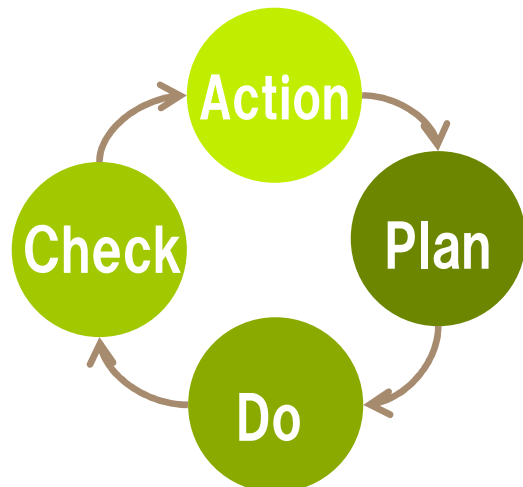
1. 国内外の環境関連法規制及びその他要求事項の順守
2. 2050年カーボンニュートラル達成に向け、創エネ・省エネ加速
3. 廃棄物の発生抑制及びリサイクルへの取り組み
4. 環境負荷の少ない商品開発及び生産活動
5. 地域との共生、環境汚染の予防
 - 1) 油類・有害物質の漏洩防止
 - 2) 敷地境界線から、騒音の漏れ防止

環境マネジメント

環境管理体制



環境活動体系



□Plan

- ・環境側面
- ・法的及びその他の要求事項

□Do

- ・運用管理
- ・緊急事態への準備及び対応
- ・コミュニケーション
- ・力量・教育訓練及び自覚

□Check

- ・監視及び測定
- ・順守評価
- ・内部監査
- ・マネジメントレビュー

□Action

- ・是正処置及び予防処置
- ・改善事項の水平展開

環境マネジメント

環境委員会

実践的な環境改善活動を推進する事を目的に、定期的に環境委員会を開催しています。委員会では、環境活動方針、環境マネジメントKPI、環境改善活動計画及び実績、環境改善活動などを共有し、環境マネジメント強化を図っています。

内部監査・外部審査

環境マネジメントシステムの運用状況及び有効性の確認、環境活動好事例の横展開を目的とし、毎年内部監査を実施するとともに、ISO14001認証機関による外部審査を受けています。内部監査及び外部監査結果は環境委員会で報告し、環境マネジメントシステムの継続的改善に繋がっています。

【ISO14001 (2015) 認証書】



駿河生産プラットフォームは、このたび、本社、阿見、関西および海外工場を対象として、環境マネジメントシステムISO14001:2015の更新審査を受け、2025年10月20日付けで承認されました。(認証期間2028年11月16日)

環境教育

環境教育訓練計画に基づき、従業員への環境教育を行っています。また、環境管理体制を強化するため、サイト管理責任者を中心に、毎年内部監査研修を受講するなど、定期的な環境教育活動を実施しています。

FY24 - FY26 グローバル環境目標

No.	項目	FY24目標	FY25目標	FY26目標
1	電力消費量	FY23比 前年消費量1%削減 全11拠点目標達成	FY24比 前年消費量1%削減 全11拠点目標達成	FY25比 前年消費量1%削減 全11拠点目標達成
2	廃棄物排出量	FY23比 前年排出量1%削減 全10拠点目標達成	FY24比 前年排出量1%削減 全10拠点目標達成	FY25比 前年排出量1%削減 全10拠点目標達成
3	リサイクル率	FY23比 前年率1%向上 全11拠点目標達成	FY24比 前年率1%向上 全11拠点目標達成	FY25比 前年率1%向上 全11拠点目標達成
4	騒音苦情件数	グローバル 0件	グローバル 0件	グローバル 0件
5	油漏洩事故件数	グローバル 0件	グローバル 0件	グローバル 0件

FY24 グローバル環境目標と実績

No.	項目	環境目標	活動実績	判定
1	電力消費量	前年消費量1%削減 全11拠点目標達成	目標達成率45% (5拠点/11拠点)	未達成
2	廃棄物排出量	前年消費量1%削減 全10拠点目標達成	目標達成率60% (6拠点/10拠点)	未達成
3	リサイクル率	前年率1%向上 全11拠点目標達成	目標達成率64% (7拠点/11拠点)	未達成
4	騒音苦情件数	グローバル 0件	0件	達成
5	漏洩事故件数	グローバル 0件	0件	達成

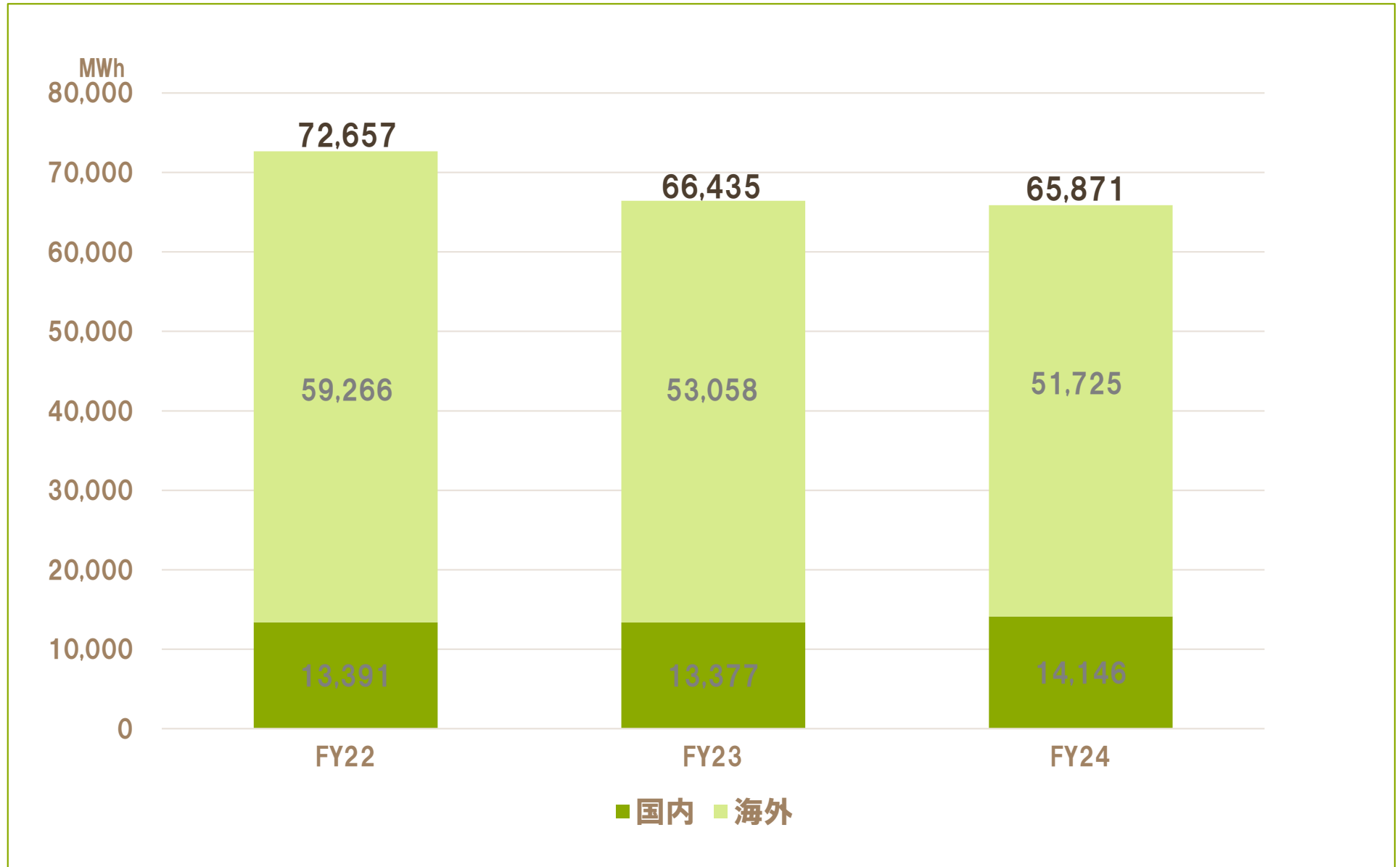
FY24 グローバル環境目標達成拠点

No.	項目	目標達成拠点数	環境目標達成拠点
1	電力消費量	(5拠点/11拠点)	東京営業所▲65.3% ベトナム▲3.5% タイ▲8.1% 中国上海▲1.9% インド▲22.5%
2	廃棄物排出量	(5拠点/11拠点)	清水工場▲19.8% 関西工場▲2.2% ベトナム▲4.8% 韓国▲40% 中国上海▲6.0% 中国南通▲2.5%
3	リサイクル率	(7拠点/11拠点)	三島精機+2% ベトナム、タイ、韓国、インド *1 中国上海+5% 中国南通+1%
4	騒音苦情件数	(11拠点/11拠点)	全11拠点
5	油漏洩事故件数	(10拠点/10拠点)	全10拠点 *2

*1 ベトナム、タイ、韓国、インドについては、100%リサイクルのため目標達成拠点としてカウント

*2 東京営業所は、営業拠点のため油漏洩拠点より除外

事業活動に伴う環境負荷実績(電力使用量推移)



海外・・・ベトナムでの太陽光発電設備増設で発電量1832MWh増加し、電力使用量が▲1,333MWh減少
国内・・・開発設備増加により、清水工場の電力使用量が708MWh増加

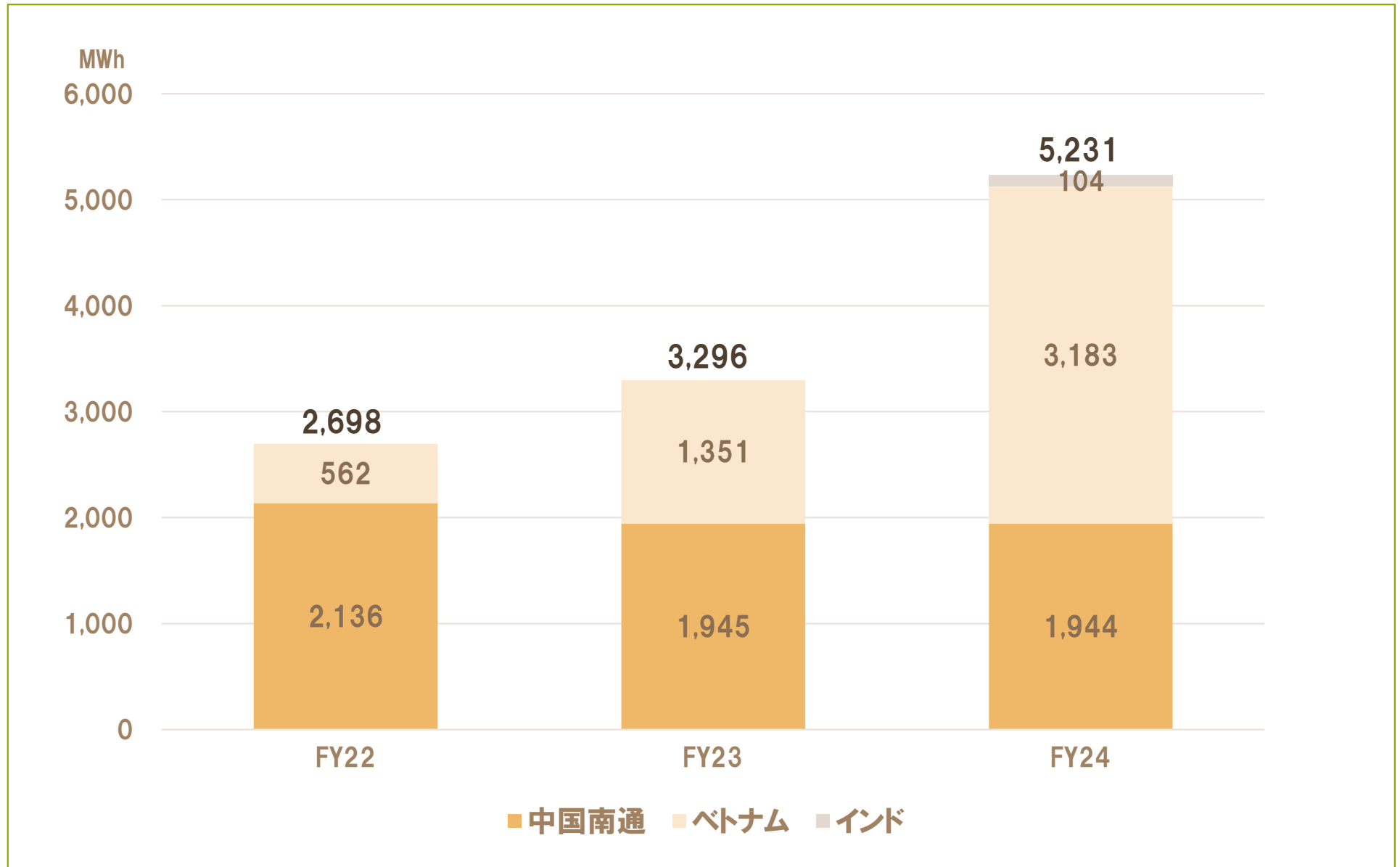
事業活動に伴う環境負荷実績(電力使用量)

単位: MWh	FY23 使用量	FY24 使用量	使用量前期差	使用量前期差(%)
総合計	66,435	65,872	▲563	▲0.8%
国内合計	13,377	14,147	770	5.8%
清水工場	7,894	8,602	708	9.0%
関西工場	3,181	3,192	11	0.4%
阿見工場	1,958	1,999	41	2.1%
東京営業所	26	9	▲17	▲65.3%
三島精機	318	345	27	8.4%
海外合計	53,058	51,725	▲1,333	▲2.5%
ベトナム	39,582	38,201	▲1,381	▲3.5%
タイ	1,156	1,063	▲93	▲8.1%
韓国	241	265	24	10.0%
中国上海	4,000	3,925	▲75	▲1.9%
中国南通	7,880	8,117	237	3.0%
インド	199	154	▲45	▲22.5%

国内…清水工場では工法、設備開発設備増設に伴い、電気使用量が前期比9%増加、関西工場、阿見工場、三島精機も微増。
東京営業所は、事務所縮小により電力使用量65.3%減少

海外…中国上海とタイでは省エネ活動により1.9%減少、ベトナムでは、太陽光発電増設により3.5%減少、インドでは、太陽光発電導入により22.5%減少、中国南通では、生産量の回復に伴い、力使用量が3.0%増加

事業活動に伴う環境負荷実績(太陽光発電量推移)



海外・・・中国南通の発電量は横ばい、ベトナムでは、FY24より、太陽光発電設備増設分が稼働開始、対前年比+1,832MWh
国内・・・阿見工場への太陽光発電設完了、FY25より稼働開始予定

創エネ施策実績(太陽光発電量)

単位: MWh	FY23 発電量	FY24 発電量	発電量前期差	発電量前期差(%)
太陽光発電合計	3,296	5,231	1,935	58.7%
ベトナム太陽光	1,351	3,183	1,832	135.6%
中国南通太陽光	1,945	1,944	▲1	▲0.1%
インド太陽光	0	104	104	104%

太陽光発電

中国南通・・・FY24の発電量は横ばい

ベトナム・・・第3工場にも設置を行い、FY24より稼働開始、前期差で135.6%増加。第2工場へも新規導入開始、FY25より稼働予定

インド・・・入居施設に太陽光発電が設置され、供給開始

阿見工場・・・FY24に太陽光発電設備の設置完了、FY25より稼働開始予定

FY24太陽光パネル新設工場

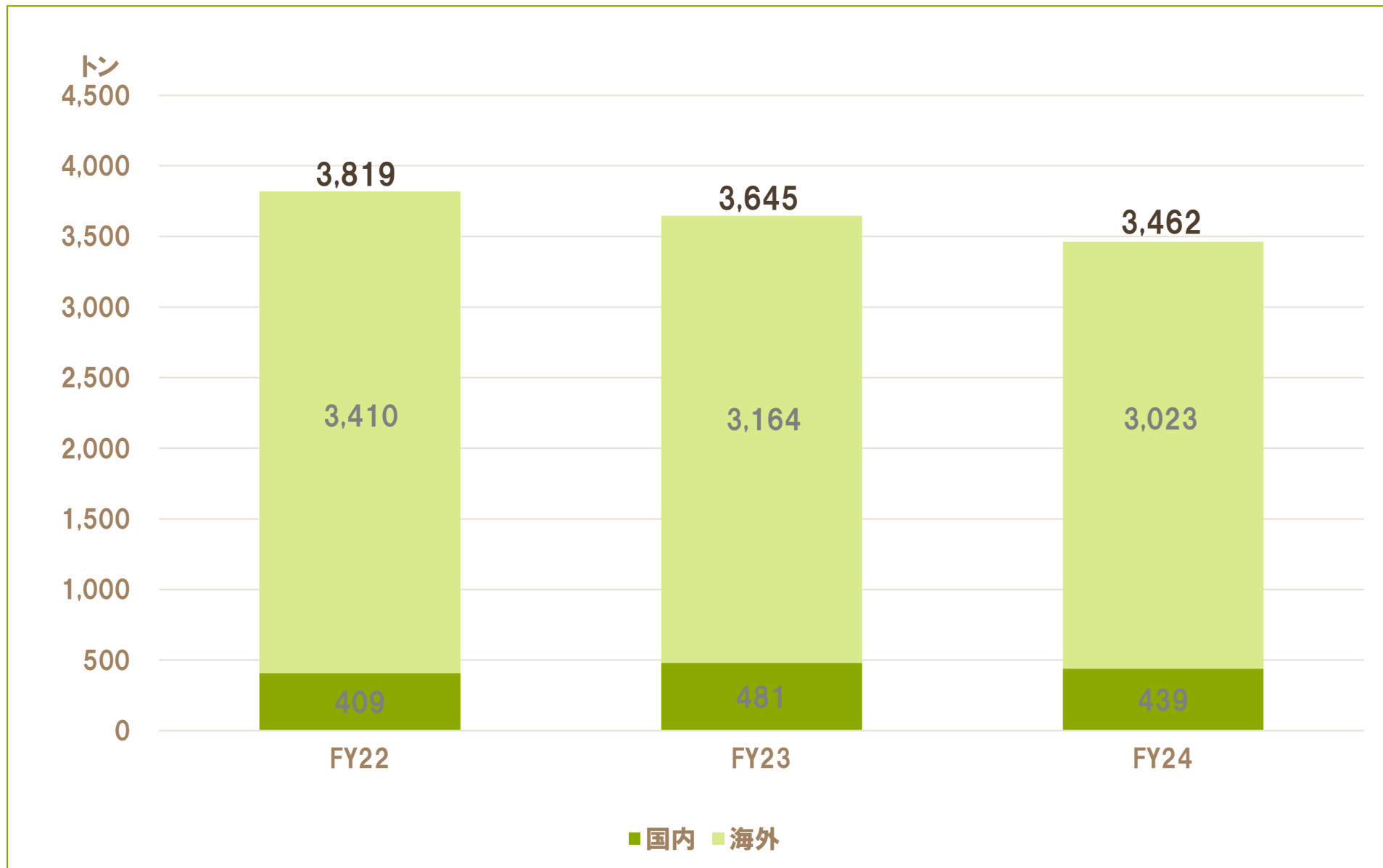


※ベトナム 第二工場



※阿見工場

事業活動に伴う環境負荷実績(廃棄物量推移)



国内と海外は、ともに廃棄物は減少傾向

事業活動に伴う環境負荷実績(廃棄物量)

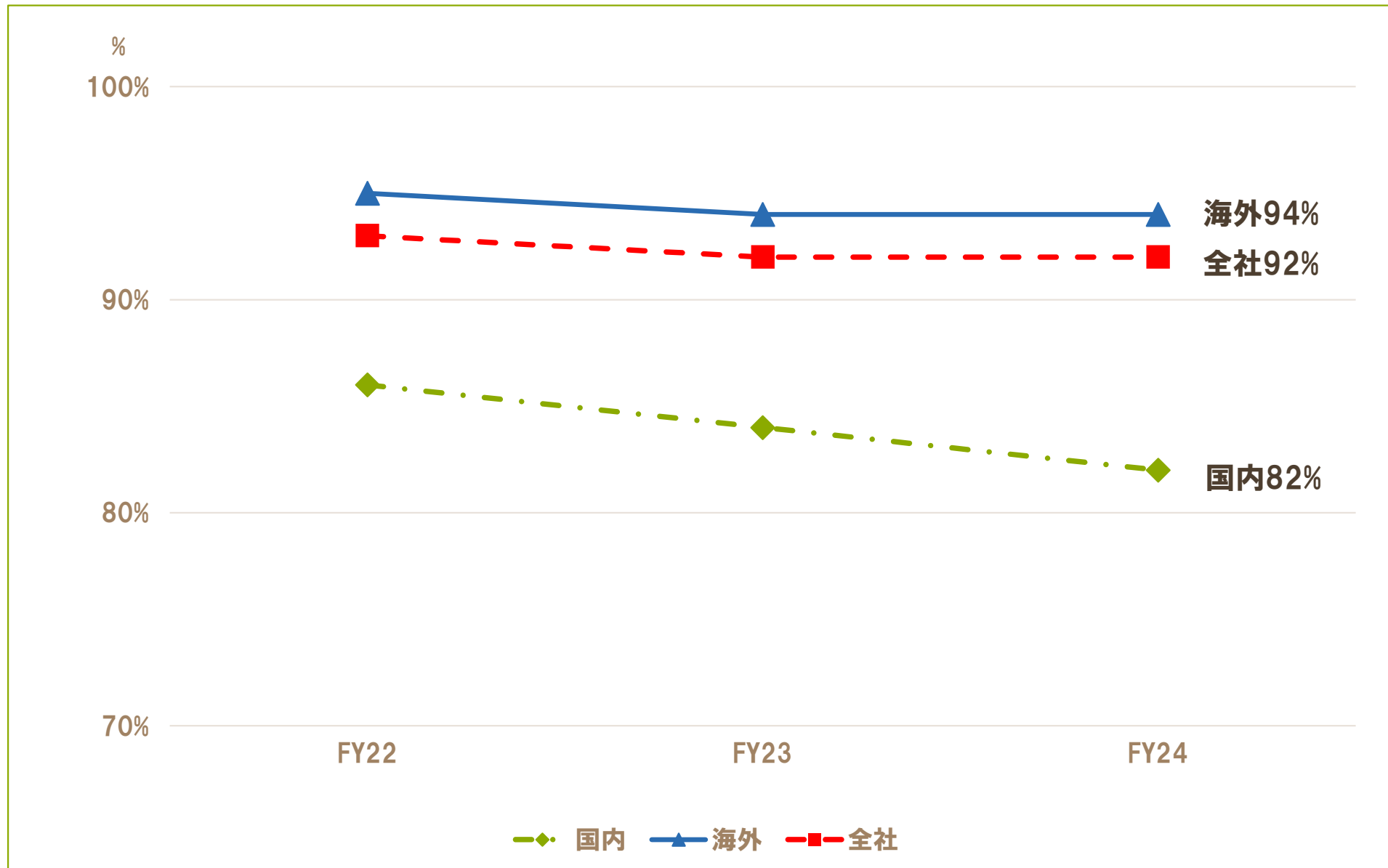
単位:トン	FY23 廃棄量	FY24 廃棄量	廃棄量前期差	廃棄量前期差(%)
総合計	3,652	3,472	▲180	▲4.9%
国内合計	481	439	▲42	▲8.7%
清水工場	202	162	▲40	▲19.8%
関西工場	137	134	▲3	▲2.2%
阿見工場	129	130	1	0.8%
三島精機	13	13	0	0.0%
海外合計	3,171	3,033	▲138	▲4.4%
ベトナム	2,629	2,503	▲126	▲4.8%
タイ	97	99	2	2.1%
韓国	5	3	▲2	▲40.0%
中国上海	116	109	▲7	▲6.0%
中国南通	317	309	▲8	▲2.5%
インド	7	10	3	43%

*廃棄物量には、有価物の金属は含まない

国内・・・清水工場では前期比で輸入量の減により段ボール廃棄量削減で19.8%減少、関西工場では、廃油排出が減少した影響により2.2%減少、阿見工場では廃棄物微増により0.8%増加

海外・・・ベトナムでは、通い箱使用により廃棄物量が4.8%減少、中国南通とタイでは生産量減により2.5%と40%減少、中国上海はFY23の一時的増加から回復し6.0%減少、タイとインドでは、生産量の回復に伴い、2.1%と43%増加

事業活動に伴う環境負荷実績(リサイクル率推移)



事業活動に伴う環境負荷実績(リサイクル量・率)

単位:トン	FY23 リサイクル量	FY24 リサイクル量	リサイクル量 前期差	単位: %	FY23 リサイクル率	FY24 リサイクル率	リサイクル率 前期差
総合計	6,447	6,401	▲46	総合計	92%	92%	0pt
国内合計	980	931	▲49	国内合計	84%	82%	▲2pt
清水工場	201	170	▲31	清水工場	84%	77%	▲7pt
関西工場	299	301	2	関西工場	90%	90%	0pt
阿見工場	456	435	▲21	阿見工場	80%	79%	▲1pt
三島精機	24	25	1	三島精機	96%	98%	2pt
海外合計	5,467	5,470	3	海外合計	94%	94%	0pt
ベトナム	4,357	4,298	▲59	ベトナム	100%	100%	0pt
タイ	99	102	3	タイ	100%	100%	0pt
韓国	14	12	▲2	韓国	100%	100%	0pt
中国上海	106	117	11	中国上海	55%	60%	5pt
中国南通	891	939	48	中国南通	77%	78%	1pt
インド	0	2	2	インド		100%	100pt

リサイクル量・率には、有価物の金属を含む

国内・・・清水工場では、段ボール削減の影響で7pt増加、阿見工場では、廃油サイクル見直し影響で1pt増加

海外・・・中国上海では、生産増により、有価金属が増加し5%減少

事業活動に伴う環境負荷実績(騒音苦情、油漏洩事故件数)

	FY23 件数		FY24 件数		苦情・事故 前期差
	騒音苦情	油漏洩	騒音苦情	油漏洩	
国内	0	0	0	0	0
本社工場	0	0	0	0	0
関西工場	0	0	0	0	0
阿見工場	0	0	0	0	0
東京営業所	0		0		0
三島精機	0	0	0	0	0
海外	0	0	0	0	0
ベトナム	0	0	0	0	0
タイ	0	0	0	0	0
韓国	0	0	0	0	0
中国上海	0	0	0	0	0
中国南通	0	0	0	0	0
インド	0	0	0	0	0

作業環境測定・・・各拠点では、敷地境界線にて年1回騒音測定を実施、外部からの苦情なし

油漏洩事故・・・安全パトロールでリスクを事前察知、打ち手実行により、事故の発生なし

環境活動への取り組み

脱炭素社会への取り組み

2024年度の取り組み

- ・清水工場は、すべての電力を「静岡Green電気」へ切り替え、地産・地消を推進
- ・阿見工場では、太陽光発電パネルを設置し、2024年4月から稼働予定
- ・ベトナム工場では、工場敷地内へ太陽光発電パネルを増設、2024年4月から稼働予定

循環型社会への貢献

廃棄物リサイクルを推進していくために、廃棄物の適切な分別を実施、全社平均リサイクル率90%以上を維持しています。また、海外工場からの製品出荷および日本からの資材の輸出に通い箱を使用し廃棄物を削減、製造工程で生じる不良ロス削減のために、生産工程改善や新たな設備の導入、適切な設備保全に取り組んでいます。

「RoHS指令／グリーン調達対応

RoHS指令やグリーン調達に対応するため、当社では事業ごとに材料・部品の制限・禁止物質を調査し、代替化を推進しています。例えば、精密位置決めステージに組み込まれる黄銅部品を低カドミウム材料へ代替することで適合を図っています。特注品対応と合わせ、適合製品の販売を順次計画しています。また、地球環境保全が地球にとって最重要課題であると認識し、当社の企業活動において地球環境の保全と向上に誠意を持って配慮し、行動いたします。

会社概要

会社概要 事業内容

2025年3月末現在
自動化部品関連事業、精密金型部品関連事業、meviy事業
光関連機器関連事業

本社

〒424-8566
静岡県静岡市清水区七ツ新屋505
Tel :054-344-0311(代表)
Fax:054-346-1053

URL

<https://www.suruga-g.co.jp/>

創立

1964年5月8日

代表者

代表取締役社長 遠矢工

資本金

491 百万円

従業員数

5,117名（うち国内勤務者926名）

主要取引先

株式会社ミスミ・駿河精機株式会社・他

取引銀行

みずほ銀行 清水支店



駿河生産プラットフォームは、ミクロン単位の精度が要求される精密加工技術を基盤に事業を展開しています。主要事業は、国内トップクラスのシェアを誇るパンチ&ダイ部品などを手掛けるプレス金型部品製造事業をはじめ、モールド金型部品製造事業、自動化部品製造事業、光関連機器製造事業です。

これらはいずれも最先端の産業・技術を支えるため、「最先端の一步先」を行くことを使命としています。また、グローバル供給を支えるべく、ベトナム、韓国、中国、タイ、インドに拠点を構えています。

今後も、商品開発や生産技術分野に加え、総務、人事、財務、情報システムなど、あらゆる領域で「たゆまない革新」を続け、より一層質の高い経営を目指します。